

## 目次

■新サービスのご案内	…P2
■「やまびこ号」から「やまびこ文庫」へ	…P3
■図書館トピックス	…P4、5
■郷土資料情報	…P6
■新着図書案内	…P7
■図書館からのお知らせ	…P8

※緑陰通信は県立図書館のホームページ  
(<http://www2.lib.pref.miyazaki.jp/>)からもご覧いただけます。

## 時代を経ても 変わらぬ 図書館の魅力

宮崎県立看護大学  
教授 大館 真晴



### ことげ 事繁み あひ間はなくに 梅の花 ま しを うつ 雪に萎れて移ろはむかも

〔口語訳〕

色々な事にわずらわされて、あなたのお宅に伺わないでいるうちに、梅の花は雪にしおれて盛りが過ぎてしまうことでしょうかね

『万葉集』巻19・4282・石上宅嗣

先の万葉歌は、奈良時代の歌人、石上宅嗣いそのかみのやかつぐのもので。この歌は、宅嗣が日々の忙しさのあまりに、恋人の邸宅に咲く梅の花の盛を見逃してしまいそうになり、その状態を嘆いたものとされています。恋人を放って置くとは、さぞかし、宅嗣は忙しかったのでしょうか。

では、石上宅嗣はどのような理由で、そのように多忙であったのでしょうか。本稿の前半部では、作者、石上宅嗣の紹介とともに、この宅嗣の多忙の理由について、「きっと、こんな理由で多忙であったに違いない」「こんな理由での多忙であってほしい」という、筆者の願いを述べてみたいと思います。

石上宅嗣という人物は、古代からの有力豪族であった石上氏いそのべ（物部氏の末裔）の一族として、この世に生まれました。その後、成長した宅嗣は、藤原仲麻呂ふじわらのなかまろの討伐などで活躍し、大納言にまで出世しました。その一方で、「文人の首」と称されるほどの文化人でもありました。

石上宅嗣は、晩年、平城京（現在の奈良市）にある自分の邸宅あしのかしを阿闍寺という寺院に改築しました。そして、その敷地内に、儒学の書物を中心とした、私設の図書館をつくりました。その名も「芸亭」と言います。石上宅嗣は、この「芸亭」において、学問を志す人々に対して、自由に蔵書を閲覧させました。このことから、「芸亭」は我が国最初の公開図書館と言われていました。

当時、「芸亭」に通った人物として、賀陽豊年かやのとよとしという人物がいました。宅嗣は豊年の勉強熱心さに感心し、自分の持つ知識の多くを豊年に授けたそうです。宅嗣から教えを受けた豊年は、後に、朝廷の文章博士もんじょうはかせ（朝廷の大学寮に属し、詩文や

歴史を教授した教官）となり、大成しました。貴重な典籍に触れたことや、石上宅嗣という一流の文化人に出会ったことが、きっと大きく影響したのでしょう。

つまり、奈良時代に誕生した、我が国最初の公開図書館「芸亭」とは、図書館という機能だけでなく、学びの場としての機能も持っていました。奈良時代という遠い昔から、図書館で学びの機会を得、書物を読み、自らの学びを深めた人物がいたとは、ちょっとした感動を覚えます。

筆者は、そのような感動から、先の万葉歌における石上宅嗣の忙しさとは、賀陽豊年を生み出した、「芸亭」の仕事であってほしいと願うわけです。

この宅嗣が、「芸亭」にて行っていた、書物の管理、公開という仕事は、現代の図書館においても引き継がれています。例えば、宮崎県立図書館では、江戸時代に制作された木版刷りの『日本書紀』や、西郷隆盛の書、夏目漱石の書簡などの貴重書類が収蔵され、特別展示室などで定期的に公開されています。また、閲覧室、収蔵庫には、その他、多くの蔵書があり、我々はそれらを閲覧することで、学びを得ることができます。

さらには、学びの機会の提供という点でも、現代の図書館は宅嗣の仕事を引き継いでいるといえます。例えば、宮崎県立図書館では「神話のふるさと県民大学」のリレー講座を共催し、県民にさまざまな学びの場を提供しています（本年度も9月に開催される予定です）。

昨年度の例をあげますと、日向神話関係では以下のものが開催されました。〔鼎談〕「日本人にとって聖なるものとは何か―神と自然の古代学」上野誠（奈良大学教授）、関知子（宮崎放送ラジオ局長）、伊藤一彦（宮崎県立図書館名誉館長）。〔対談〕「世界の神話と日向神話」、平藤喜久子（國學院大學准教授）、大館真晴（宮崎県立看護大学教授）。

その他、郷土の歌人若山牧水の関係では、〔対談〕「若山牧水の魅力―親和力の歌人を読む―」小島ゆかり（歌人）、伊藤一彦（宮崎県立図書館名誉館長）などが開催されました。

先の講座は、文学部などの人文科学系の学部学科が少ない本県にとって、若山牧水や郷土の神話伝承が学べる貴重な場となっています。さらに、これらの講座では、県内外で活躍する多くの講師陣を招いています。このことは当代一流の学説や作家の感性にふれることができる貴重な機会となっています。

宮崎県立図書館の蔵書とさまざまな講座は、宮崎県民の学術文化への関心を育むという点において、重要な役割を担っているといえるでしょう。この奈良時代から続く図書館の魅力は、ぜひ、多くの人に知ってもらいたいと願っています。

# 新サービスのご案内

## ① 新マイラインサービス

～マイラインサービスがスピードアップしてさらに便利に!～

マイライン (Miyazaki Prefectural Library Advanced Information Network System の略) は、県立図書館と県内の市町村立図書館・図書室を結ぶネットワークのことです。

読みたい本がお近くの市町村立図書館(ただし、合併前の宮崎市、清武町は除きます。)になく、県立図書館に所蔵があれば、市町村立図書館・図書室を通じて貸し出しますので、県立図書館においでにならなくても、県立図書館の本を利用することができます。(ただし、館外貸出ができない禁帯出資料は除きます。)

このマイラインサービスはこれまで週1回の発送だったため、利用者の元に本が届くのに最長10日間ほどかかることもありましたが、今年度より毎日(土日祝日を含む。)発送することになりましたので、早ければ2日で近くの市町村立図書館にお届けできるようになりました。

マイラインサービスは無料でご利用いただけますので、ぜひご利用ください。

## ② 有料宅配サービス

お近くの市町村立図書館・図書室に行けない方のために、宅配便を利用し、図書を直接ご自宅に有料で送付するサービスを平成28年4月1日より始めました。往復の費用は利用者の方の負担となっております。ただし、返却については宅配等によるほか、直接県立図書館や遠隔地返却を受け付けている市町村立図書館・図書室でも可能です。

ぜひご利用ください。

### 【利用できる資料】

- 図書館資料10点以内(児童図書室の図書館資料は5点以内)  
ただし、館外貸出ができない禁帯出資料は除きます。

### 【利用期間】

- 貸出手続きから2週間以内(郵送に要する日数を含む)  
ただし、予約が入っていない場合は、返却予定日より更に2週間延長することができます。

### 【申し込み方法】

- 図書館資料宅配サービス申込書により、封書またはFAXで送付してください。  
申し込みのあった図書館資料を確実にお届けするために、電話でのお申し込みは、受け付けておりませんのでご理解ください。  
いつでも、どこからでも県立図書館の資料をご利用いただけるサービスです。





# 「やまびこ号」から「やまびこ文庫へ」

## ～町村支援、小中学校支援が変わります～

県民共有の財産である県立図書館の図書を、広く県民の皆様にご利用いただけるような環境を整備することは、県立図書館の大切な役割の一つです。そこで、県立図書館では、市町村における読書普及活動及び読書環境整備を支援することを目的として、県内の小・中学校や特別支援学校等、町村立図書館・図書室に本を貸し出す制度を導入しています。その本を届ける役割を果たしてきたのが、移動図書館車「やまびこ」です。移動図書館車「やまびこ」は、巡回先では「やまびこ号」と呼ばれて親しまれていました。

平成27年度まで活躍していた「やまびこ号」ですが、滞在時間の都合で本を選ぶ時間が制限されたり、悪天候のために巡回が中止になったりするなどの課題がありました。また、「やまびこ号」の車輛自体の老朽化問題もあり、今年度より、民間企業に配送を委託する「やまびこ文庫」をスタートさせることにしました。

「やまびこ文庫」では、各学校や各町村立図書館・図書室へ貸し出しできる冊数の上限が500冊となり、その中から利用者の方が本をじっくり選ぶことができるようになりました。また、業者に配送を依頼することで、悪天候でも図書を運ぶことが可能となります。6月7日(火)には、「やまびこ号」から「やまびこ文庫」への引継式が行われ、たくさんの方々に見守られて「やまびこ文庫」がスタートしました。



やまびこ文庫への引継式の様子

ここで「やまびこ号」の歴史を振り返ってみたいと思います。

「やまびこ」という名前は昭和28年12月17日、約700通の応募の中から命名されたもので、昭和29年に運用を開始しました。

当初、テレビのない時代に心の糧となる文学書・教養書や産業技術に関する図書を運び、昼は貸し出しを行っていました。また、夜はレコードコンサート・映写会・読書座談会・子どものための紙芝居などの文化的活動も行っていました。人々は「やまびこ」の訪問を心待ちにしていたそうです。



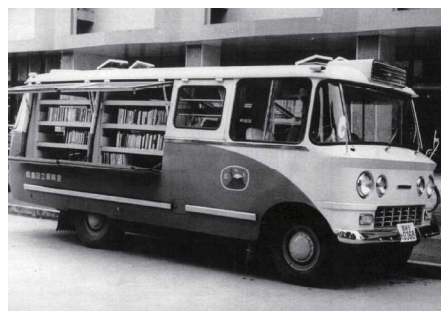
「やまびこ」命名式



映写会の様子



初代やまびこ号(S28.12～S38.6)



2代目やまびこ号(S38.9～S43.8)



3代目やまびこ号(S43.8～S52.8)



4代目やまびこ号(S52.8～S63.4)



5代目やまびこ号(S63.5～H17.12)



6代目やまびこ号(H17.12～H27.12)

「やまびこ号」から「やまびこ文庫」へと本を届ける方法は変わりましたが、読書に親しんでいただきたいという思いは変わりません。これからも「やまびこ文庫」を通して、子どもから大人まで生涯にわたって読書に親しむ環境をつくり、日本一の読書県を目指していききたいと思います。

## 第58回こどもの読書週間

4月23日は、「子ども読書の日」です。毎年、この日を含んだ約3週間を「こどもの読書週間」として、全国の公共図書館などがいろいろな催し物を企画しています。

今年も県立図書館では特別企画展示をはじめ、科学遊び「ドライアイスであそぼう!」、児童室担当職員によるワークショップ「しかけのあるえほんをつくろう!」、読み聞かせを開催しました。

4月23日(土)は、科学読物研究会の会員で、宮崎市立図書館や木城えほんの郷、学校などで数多く「科学あそび」教室を開催されている経験豊富な佐藤和子先生をお呼びして、「科学あそび」の講座を開きました。幼稚園生から小学校中学年までの子どもたちが参加してくださいました。どの年齢の子どもたちもドライアイスに興味津々でした。子どもたちだけでなく、保護者の方々も楽しんでいらっしゃいました。講座で紹介していただいた本は児童室で貸し出しできるので、科学の本を借りて、お家でも安全に気をつけて科学あそびに挑戦していただきたいです。

また、5月3日(火)は、ワークショップ「しかけのあるえほんをつくろう!」の講座を開きました。ひらくと飛び出したり上下に動いたりするしかけを紹介し、自分だけの絵本を作りました。たくさんの親子が参加してくださいました。子どもたちは基本のしかけを応用して発想豊かな作品を作り上げており、とても驚きました。作品を作り上げる喜びを味わい、親子で協力し合ってスキンシップを図る有意義な時間となったと思います。

今後も県立図書館では、子どもの楽しい読書を応援して、家庭や地域でも子どもの読書活動の推進を図って参ります。



科学あそびを紹介する佐藤先生



「しかけのあるえほんをつくろう!」の様子

## フェイスブックはじめました!

県立図書館では、平成28年4月から公式フェイスブックページを開設しました。好評いただいているホームページに加えて、さまざまな情報を発信していきます。

読んでうれしい、見て楽しい情報満載で、そくそく更新予定。どうぞご利用ください。



URL <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>



アクセスの方法は簡単です。ホームページからフェイスブックのリンク画像をクリックするか、スマートフォンで右のQRコードを読み取るだけ。ホームページにはなかった新しい図書館情報が広がります。



※読み取りの精度や印刷の状態などにより、正確に読み取れない場合があります。

ココをクリック!







## ○郷土を学び、郷土を考える～宮崎の歴史と文化に出会う時間～

	展示会・講座名	開催日・会期等	会場・時間等
展 示	企画展 「ぶらぶら日向路」 特別展 「明治の村絵図」 特別展 「山伏の歩いた日向路」 テーマ展 「酉」	4月26日(火)～ 6月 5日(日) 7月 5日(火)～ 8月14日(日) 9月27日(火)～11月 6日(日) 1月24日(火)～ 2月12日(日)	2階特別展示室 開室 9:00～17:00
	巡回展 「近世成立期の日向国 ～佐土原藩を中心に～」	6月 9日(木)～ 6月26日(日) 8月 9日(火)～ 8月21日(日) 9月13日(火)～10月 2日(日) 12月 6日(火)～12月25日(日) 2月 7日(火)～ 2月26日(日)	日向市立図書館 日南市立小村記念館 えびの市歴史民俗資料館 都城市立図書館 延岡市立図書館
	共催展「遺跡発掘速報展2016」 (主催:宮崎県埋蔵文化財センター)	8月19日(金)～ 9月11日(日)	2階特別展示室 開室 9:00～17:00
講 座	文化講座① 「宮崎県周辺の最近の火山活動」 文化講座② 「伊豆の伊東氏と日向入国」 文化講座③ 「霧島ジオパーク」	6月25日(土) 講師:小泉岳司氏(宮崎地方気象台) 7月23日(土) 講師:末永和孝氏(郷土史家) 8月27日(土) 講師:大學康宏氏(高原町職員)	2階視聴覚室 13:30～15:30(各回共通)
	古文書講座① 「古文書に親しむ」(全4回)  古文書講座② 「萬覚書を読む」(全2回)	6月 9日(木)講師:高松恵美子氏 6月16日(木)講師:中元暢一氏 7月 7日(木)・14日(木) 講師:柘植幹雄氏 11月26日(土)・12月17日(土) 講師:大賀郁夫氏 (宮崎公立大学教授)	2階視聴覚室 13:30～15:30 ※6月16日(木)10:00～12:00

※6月中旬以降の行事を紹介しています。

## ○コラム 「以久の父 島津忠將」

佐土原藩島津家文書の中には系図や系図覚が含まれています。写真の「佐土原島津系図」もその一つで長さが7mを超える史料です。慶長8(1603)年に佐土原領主となった藩祖以久の父、島津忠將から佐土原藩4代藩主<sup>ただあきら</sup>の忠高までが記載されています。今回は、この系図の冒頭に見える島津忠將にまつわるお話です。

忠將は島津宗家15代当主である島津貴久の弟で、戦国期にその名を馳せた島津三兄弟(義久・義弘・家久)の叔父に当たる人物です。永禄4(1561)年に肝付氏との戦いに挑み、大隅国始良郡の廻城をめぐる攻防の末42歳で非業の死を遂げています。忠將の法名は「心翁大安居士」、西都市都於郡にある大安寺の名はこの法名に由来します。この寺はもともとは15世紀の半ばに伊東家の家督を継いだ伊東祐堯(法名:源徳本公愨昌院殿)の菩提寺であった愨昌院ですが、以久が佐土原に封ぜられた後、父忠將の菩提寺として興福山大安寺とその名を改め再興しました。山門をくぐった右手には、宝永7(1710)年に忠將の150回忌にあわせて第5代藩主惟久が造立した高さ2mを超える供養塔があります。塔の中央には「奉讀誦大乘妙典一千部爲大安寺殿心翁大安大居士菩提也」、左には造立年の「寶永七庚寅年七月十二日」、右に「嶋津氏惟久敬白」と端正な文字で刻まれています。七月十二日は島津忠將の命日に当たり、佐土原藩嶋津家日記には、この日に大安寺で執り行われた「百五十年御忌」に関する記述も見えます。

藩政時代には佐土原城下に忠將を祭神とした天下大明神も大切に祭られており、歴代藩主の忠將に対する崇敬の念を今に伝えています。



佐土原島津系図



島津忠將供養塔

参考文献:「佐土原藩史」桑原節次著佐土原町教育委員会1997

# 新着図書案内

県立図書館に入ってくる新着本は、ホームページ画面から確認することができます。

トップページ内のここをクリックすると「新着一覧」(右)をご覧ください。

県立図書館にお越しになられた際は、ぜひ新着案内コーナーもチェックされてみてください。

## ●一般図書の到着案内●



閲覧室内にあります。

### 『地図で訪ねる歴史の舞台 旅に出たくなる 日本』

帝国書院編集部(帝国書院)

現在の地図の上に、歴史的事項を重ねた新発想の地図帳。巻頭特集では、今話題になっている江戸や姫路城、軍艦島の鳥瞰図を掲載。現在と過去のつながりが地図でわかる1冊。(日販マークより)

### 『洋菓子百科事典』

吉田菊次郎(白水社)

洋菓子のすべてがわかる事典。フランス・ドイツ・イギリスのお菓子はもちろん、アメリカ・東欧・中東・アジア、各国の地方菓子まで幅広く紹介。配合や製法に加え、歴史やエピソード、社会現象など文化的背景も記述。(日販マークより)

### 『ISO9001 やるべきこと、気をつけること、2015年改訂版完全対応』

ISO 総合研究所著、古江一樹監修(あさ出版)

業界売上No.1の著者が、1987年の規格発行時以来、最大の改訂と言われる2015年11月の大改訂に完全対応。(日販マークより)

## ●青少年コーナーの到着案内●



### 『欽ちゃんの、ボクはほけない大学生。73歳からの挑戦』 萩本欽一(文藝春秋)

駒澤大学に入学した欽ちゃん。73歳の大学生活は、一体どうなる。毎日一番前の席で講義を受け、テスト勉強に四苦八苦、はじめての学食に感激…。入学式から冬休みまで、山あり谷ありの1年間をレポート。(日販マークより)

閲覧室内にあります。

## ●児童図書の到着案内●



### 『このあとどうしちゃう』

ヨシタケシンスケ(ブロンズ新社)

おじいちゃんは、しぬのがこわかったのかな。たのしみだったのかな。しんだおじいちゃんのノートをひらいてみると…。死んだあとのこと、生きてる間に考えてみよう。ヨシタケシンスケの発想えほん第3弾。(日販マークより)

児童図書室内にあります。

## ●郷土資料の到着案内●



### 『佐土原藩島津家江戸日記 17』


宮崎県立図書館編(宮崎県立図書館)

宮崎県立図書館が所蔵する貴重な史料「佐土原藩島津家江戸日記」の翻刻、第17巻。今回は天明2年(1782)正月から12月の1年間の記録を収録。江戸と佐土原の両方の記録が揃っており、大変興味深い内容になっている。

郷土資料室内にあります。



# 図書館からのお知らせ

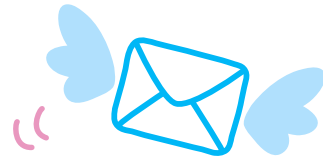


県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。  
宮崎県

## ■メールアドレスが変更になりました

新しいメールアドレスはこちらです。お間違えのないようお願いします。

代表 ・ ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp  
サービス ・ service@miyazaki-pref-lib.jp  
レファレンス ・ soudan@miyazaki-pref-lib.jp



## ■レファレンスサービスをご利用ください

資料をお探しのとき、何かを調べたいときは、一般閲覧室4番カウンターをご利用ください。図書館員が本の紹介や情報提供等を行っています。例えば・・・「郷土料理の作り方を知りたい。」「方言について調べたい」・・・など。電話、FAX、電子メール等でも受け付けています。どうぞご利用ください。

## ■障がい者サービスをご存じですか

「障がいがあって外出が難しいから、図書館に行けない」、「病気・高齢で本の字が読みにくくなった」、「手がしびれてページがめくれない」といった図書館利用が困難な方へのサービスを行っています。

詳しくは県立図書館(電話29-2972)までお問い合わせください。

### 「障がい者サービス」の例

#### ①来館が困難な方への郵送サービス

身体障害者手帳(1・2級、内部障害は1～3級)、精神障害者保健福祉手帳(1・2級)、療育手帳(A)をお持ちの方で、県立図書館への来館が困難な方へ郵送(無料)で図書を貸し出します。

#### ②音声録音図書及び再生機器の貸出

視覚障がいや他の障がいなどで本が読めない方へ音声録音図書(CD盤DAISY録音図書)を貸し出します。また、DAISY録音図書の再生機器をお持ちでない方には機器も貸し出します。録音図書の貸出サービスは、障害者手帳等をお持ちでない方であっても、活字をそのままの大きさで読むことができない、ページをめくることができないなど、活字による読書が困難な方であれば利用することができます。

### ◆◆おはなしのへや◆◆

児童図書室では、図書館員とボランティアの皆さんが、子どもたちに、絵本の読み聞かせ・おはなし(ストーリーテリング)を行う「おはなしのへや」を開いています。毎月第4火曜日には、NHKアナウンサーによる読み聞かせも行う予定です。(7月を除く)

毎週火曜日 14時～14時30分  
毎週水曜日 15時～15時30分  
毎週土曜日 15時～15時30分 幼児向け  
15時30分～16時 小学生向け  
※祝日は行いません。

### ◆◆子育て相談おはなし会◆◆

県立図書館では、宮崎県看護協会と連携し、「子育て相談おはなし会」を実施しています。子どもと一緒におはなしを聞いてリラックスした雰囲気になったところで、育児について困っていることなどをお話してください。

経験豊富な助産師さんや先輩お母さんのアドバイスももらえます。事前申込みは不要です。お気軽にご参加ください。

毎月第1火曜日(6月～3月)  
14時～16時30分

## みどりの図書館フェスタ 11月3日(木・祝)

今年も年に1度の県立図書館最大のイベント「みどりの図書館フェスタ」を行います。今年もさまざまなイベントを企画しお待ちしております。どうぞお楽しみに!!

### ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00  
■児童図書室：9:00～17:00  
休館日 ■毎週月曜日(祝日の場合翌日)  
年末年始：12/29～1/4  
特別整理期間：2/13～2/20

### 編集・発行

#### ● 宮崎県立図書館

住所 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1  
TEL ■0985-29-2911(総務・企画課)  
FAX ■0985-29-2491(総務・企画課)  
HPアドレス ■<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp>  
携帯アドレス ■[http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/l\\_index.htm](http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/l_index.htm)

